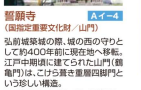
歴史の街を歩く——神社・仏閣

城下町弘前は、お城を囲むように神社や仏閣が建てられています。古都弘前をゆっくり歩いてみましょう。

最勝院五重塔 A エー4
(国指定重要文化財)
津軽統一の際、戦死したすべての人々を敵味方の区別なく供養するため、建造したといわれています。塔の総高は31.2m で、東北一の美塔と賞えられており、五重塔のなかで最も安定したと極めて大切な遺構です。
●見学時間／9:00～16:30(季節により変更あり) ●休館日／なし
●拝観料／無料(さくら本つり・ねぷたまつり期間は大人500円、小中学生300円)
●弘前市御幸町63
TEL0172-34-1123

長勝寺(国指定重要文化財／本堂・三門はじめ9棟・1口) A エー2
津軽家の菩提寺(ぼだいじ)で当初勝ヶ沢に建立されましたが、弘前城築城と同時に南西の守りとして現在地へ移転。三門、梵鐘(ぼんしょう)、霊廟(れいびょう)、五百羅漢、本堂など一見の価値あります。
●見学時間／4月～11月(冬季は要問合せ) ●見学時間／9:00～16:00 ●休館日／なし ●拝観料(予約不要)●家内付き拝観料300円(10名より割引、4月下旬～11月、(9:00～16:00のうち、約40分) ●申込方法／7日前までに申込(公社)弘前観光コンベンション協会)
TEL0172-35-3131 ●弘前市西茂森1-23-8 TEL0172-32-0813

革秀寺 A エー3
(国指定重要文化財／本堂、鐘楼)
弘前藩初代藩主 津軽為信(ためのぶ)の菩提寺(ぼだいじ)です。鐘楼は唐多多用した絢爛豪華な建物です。
●見学時間／9:00～17:00(鐘楼見学は要予約、日中のみ) ●休館日／なし(為信霊屋は土曜日不休・冬季閉館) ●拝観料／中学生以上150円、団体10名以上100円、小学生以下無料 ●弘前市藤代1-4-1 TEL0172-32-7460

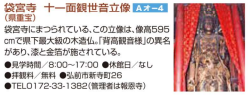


醴禅寺 A エー4
(国指定重要文化財／山門)
弘前城築城の際、城の西の守りとして約400年前に現在地へ移転。江戸中期頃に建てられた山門(鐘楼門)は、こけら葺き重層四脚門という珍しい構造。
●見学時間／9:00～16:00(4月～11月)9:00～15:00(12月～3月)
●休館日／なし ●拝観料／無料
●弘前市野田247
TEL0172-34-5532

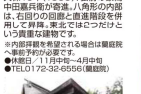
弘前八幡宮 A エー7
(国指定重要文化財／鳥門、本殿ほか)
はじめは岩木地区にあり、また、弘前城築城後、鬼門の守りとして現在地に移転されました。隣声に桃山文化の色を残した建物です。
●見学時間／8:00～16:30
●休館日／社務所月1回(不定期)
●拝観料／無料
●弘前市八幡町1-1-1
TEL0172-32-8719

袋宮寺 十一面観世音立像 A エー4
(県重宝)
袋宮寺にまつられている、この立像は、像高595cmで県下最大級の木造仏。「背高観音様」の異名があり、添仏を並ぶ姿をしています。
●見学時間／8:00～17:00 ●休館日／なし
●拝観料／無料 ●弘前市新寺町26
●TEL0172-33-1382(観覧者は報奨寺)

栄建寺(浄土宗和光院)(ぎょけんじ) A エー3
天保10年(1839)、弘前の豪商中田嘉兵衛が寄進。八角形の内部は、右回りの回廊と直進階段を伴和して神輿、東北で唯一ここだけという貴重な建物です。
※内部拝観を希望される場合は最寄院へ事前予約必要です。
●休館日／11月中旬～4月中旬
●TEL0172-32-6556(最寄院)



熊野奥照神社 A ウー7
(国指定重要文化財／本殿)
坂田村麻呂が蝦夷征伐の際、祈願した神社と伝えられ、現在の本殿は約400年前に石代藩主 津軽信政(のぶひろ)が再建。彫正、精緻で優長即の時代を示す建物です。
●見学時間／9:00～17:00
●休館日／なし●拝観料／無料
●弘前市田園4-1-1
TEL0172-32-7663



石場家(国指定重要文化財) A ウー5
江戸時代中期の建築と推測され貴重な石場家は、蒲鉾商ボウラ工品を扱っていた豪商で、現在は酒屋さん。江戸時代のアーケード「コミセ」が残ります。
●見学時間／9:00～17:00
●休館日／不定休 ●入場料／中学生以上100円、小学生以下無料
●弘前市亀甲町88
TEL0172-32-1488

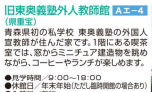
川崎染工場(市景観重要建造物) A ウー5
4代藩主 津軽信政(のぶまさ)の時代に始まった津軽天然藍染。現在、弘前で唯一、天然の藍染が行ないました。4棟藍工場では、当時の藍かめを使い、ハンカチやスカーフなど気軽に染物体験ができます。
●営業時間／9:00～17:00(冬季は9:00～16:00) ●定休日／木曜日
●染物体験／1,000円～(予約制) ●弘前市亀甲町63
TEL0172-35-6552 ※工場見学は有料(大人200円、小中高生100円)

浪漫の街を歩く——洋館

文明開化の波に乗り、動物の洋館がつくられた弘前。とんがり屋根の洋館や煉瓦造の会館など、ノスタルジックな街を歩いてみましょう。

は、飲食施設があります。

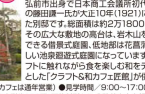
旧弘前市立図書館 A エー4
(県重宝)
弘前重おかかえの棟梁の家に生まれ、洋風建築の技術を函館で学び、明治期の津軽地方において数多くの洋風建築を手掛けた堀江佐吉。その堀江佐吉が設計施工し、ルネッサンス風和洋折衷の建物です。天井に使われている「金唐革紙」は全国的にも貴重。銀行ゆえの防火窓や、県産ケヤキでつくったカウンターなど見ごたえ十分です。
●見学時間／9:30～16:30(さくら・ねぷた・雪燈籠まつり期間は18:00まで延長) ●休館日／火曜日(四大まつり期間を除く)、12月29日～1月3日 ●入館料／大人200円、小中学校100円、団体割引あり ●弘前市元長町26 TEL0172-36-6350



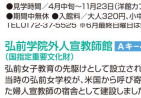
旧弘前信行社(国指定重要文化財) A カー5
旧弘前信行社は、陸軍第八師団の厚生施設として建てた、堀江佐吉設計最後の建築物。玄関ポーチやディメメントに、第八師団の「八」をもじった「鍵」の鉄製飾りがあります。
●見学時間／9:30～16:30(さくら・ねぷた・雪燈籠まつり期間は18:00まで延長) ●休館日／火曜日(四大まつり期間を除く)、12月29日～1月3日 ●一般(高校生以上)300円、小中学生100円(ガイド有は一般500円、小中学生100円) ●弘前市上白銀町8-1 TEL0172-33-0588
※入館における個人情報(氏名や住所)の収集の目的、及び第三者開示に関する情報、ガクムが眠く安心だ戦の入館は三歳連鎖します。

旧東奥義塾外人教師館 A エー4
(県重宝)
青森県初の私学校 東奥義塾の外国人宣教師が住んで来ます。1階に、ある客間室では、窓からミニチュア建造物を眺めながら、コーヒーやランチが楽しめます。
●見学時間／9:00～19:00
●休館日／年末年始(ただ、臨時開館の場合あり)
●入館料／無料
●弘前市下白銀町2-1
TEL0172-37-5501(弘前市立観光館)

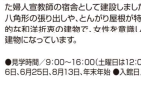
藤田記念庭園
(国登録有形文化財／洋館、和館ほか)
弘前市出身で日本商工会議所初代会頭の藤田謙一氏が大正10年(1921)に建てた別荘です。総面積は約2万1800㎡で、その広大な敷地の高台は、岩木山や眺望できる借景式庭園、低地部は花菖蒲が美しい池泉回遊式庭園になっています。ラフに触れながら食を楽しむ和をテーマとした「クラフト&和カフェ庭園」が特設。
●見学時間／4月中旬～11月23日(洋館カフェは通年営業) ●見学時間／9:00～17:00
●期間中無休 ●入館料／大人320円、小中学生100円、団体割引あり ●弘前市上白銀町8-1
TEL0172-37-5505 ※6月最終日曜日は無料 ※冬季閉館は、ついしらお問合せください。



弘前学院外人宣教師館 A キー4
(国指定重要文化財)
弘前女子教育の先駆けとして設立された当時の弘前女学校が、米国から呼び寄せた婦人宣教師の宿舎として建設しました。八角形の張り出しや、とんがり屋根が特徴的な和洋折衷の建物で、女性冬 教師 講 ル 建物になっています。
●見学時間／9:30～16:00(土曜日は12:00まで) ●休館日／月曜、日曜、祝日、4月28日～5月6日、6月25日、8月13日、年末年始 ●入館日／無料 ●弘前市相野13-1 TEL0172-38-6111



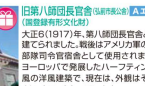
旧第八師団長官舎(弘前市長公舎) A エー4
(国登録有形文化財)
大正6(1917)年、第八師団長官舎として建てられました。戦後はアメリカ軍の進駐部隊司令官宿舎として使用されました。ヨーロッパで発展したハーフティンバーと言う洋風建築で、現在は、外観はそのままに、カフェとなっています。
●弘前市上白銀町1-1



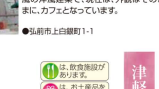
旧第五十九銀行本店本館(青森銀行記念館)
(国指定重要文化財) A エー3
青森県初の銀行第五十九銀行の本店として、堀江佐吉が設計施工した、ルネッサンス風 和洋折衷の建物です。天井に使われている「金唐革紙」は全国的にも貴重。銀行ゆえの防火窓や、県産ケヤキでつくったカウンターなど見ごたえ十分です。
●見学時間／9:30～16:30(さくら・ねぷた・雪燈籠まつり期間は18:00まで延長) ●休館日／火曜日(四大まつり期間を除く)、12月29日～1月3日 ●入館料／大人200円、小中学校100円、団体割引あり ●弘前市元長町26 TEL0172-36-6350

日本聖公会 弘前昇天教会(県重宝) A オー5
大正時代に建てられたコシック様式赤煉瓦づくりの聖堂は、J・M・ガーディナー設計といわれています。アメリカで120年前につくられたという日本で唯一のリードオルガンは、今も現役で使われています。
●外観見学自由、ほか要問合せ
●弘前市山崎町7
TEL0172-82-1642(弘前市立図書館)

カトリック弘前教会 A エー5
名匠 堀江佐吉の弟 梅山常吉が、明治末期に建設したロマネスク様式の木造建築です。慶応2年(1866)に製作されたというゴシック様式の祭壇は、オランダの聖ドマス教会から譲り受けたもの。カナダのカロン神父から贈られたステンドグラスには、岩木山、りんご、津軽三味線などが描かれ、とても絵画です。
●見学時間／8:00～18:00(夏季)8:00～日没(冬季) ●休館日／結婚式・葬式時 ●入館料／無料
●弘前市百石町小路20
TEL0172-33-0175



日本キリスト教団 弘前教会 A エー5
(県重宝)
明治8年(1875)に創立された、東北最古のプロテスタントの教会。クリスチャン棟梁 桜庭鶴五郎が設計し、堀江佐吉の四男 斎藤伊三郎が建設しました。外観はフランスゴシック風の双岩が印象的で、内部は白漆喰が美しい。
●見学時間／10:00～12:00
●休館日／月曜、水曜、土曜、日曜日
職員不在時
●入館料／無料
●弘前市元寺町48 TEL0172-32-3971



弘前おすすめ観光情報

は、飲食施設があります。 は、お土産品を販売しています。

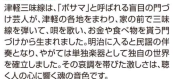
気ままに散歩、見どころ満載。
充実の弘前時間。

まちをまこう！

個性豊かなガイドと一緒に歩く街歩きツアーが通継!歴史や伝統文化、自然などの見どころやおすすめのスポットを聞きながら、弘前の雰囲気を体感できます。時間や目的などに応じて利用してみよう。コースにより参加料、申込締切日、催行内容等が異なりますので、詳しくはお問合せください。
●ホームページ／URL http://machi-aruki.sakura.ne.jp/
津軽まちあるき で検索 ※上記サイトから予約もできます。
●お問合せ／津軽まちあるき観光推進実行委員会
(公社)弘前観光コンベンション協会内) TEL0172-35-3131

弘前公園(国指定史跡／国指定重要文化財 天守ほか)
津軽統一を果たした弘前藩初代藩主 津軽為信(ためのぶ)が慶長8年(1603)に計画、2代信枚(のぶひら)が慶長16年(1611)に完成させた津軽氏の居城です。広さ約49.2ha、東京ドーム10個分以上の敷地は、三重の濠と土塁に囲まれ、6つの郭で構成されています。現在の天守は文化7年(1810)に再建されたものです。
「天守は石垣工事のため、平成27年10月に本丸の内側へと曳家(ひきや)され、元の位置に戻るのは令和8年(2026)の予定です。
本丸・北の郭・弘前城植物園は有料エリアです
●有料時間／9:00～17:00(さくらまつり期間は9:00～21:00※桜の開花状況により変更となる可能性があります)●春料期間／4月1日～11月23日●入場料／320円、小・中学生150円、団体割引あり●共通入場券(弘前城、弘前城植物園、藤田記念庭園)／520円、小・中学生160円、団体割引あり ※5月最終日曜日は無料開放●喜寿券／1,040円、小・中学生310円(さくらまつり期間も使用可能)

弘前城情報館
館内では、タッチパネル方式のデジタルスクリーンで「城と城下マップ」「津軽民族の歴史」「弘前城の築城」「弘前城の変遷」「弘前城ニュース」を、日本語と英語で紹介しています。
休憩所エリアの壁面には国内の桜などの映像、特殊フィルムを貼った東面と西面の窓ガラスには馬事試験と大名行列のCG映像などをそれぞれ投影しています。
●見学時間／9:00～17:00(さくらまつり期間は9:00～21:00) ●休館日／なし ●入館料／無料
TEL0172-26-5965

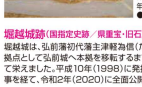


津軽三味線
津軽三味線は、「ボサマ」と呼ばれる盲目の門づけ芸人が、津軽の各地をまわり、家の前で三味線を弾いて、祝を貰い、お金や食べ物を貰う門づけから生まれました。明治に入ると民謡の伴奏となり、やがては単独楽器として独自の世界を確立しました。その哀調を帯びた激しさは、聴く人の心に響く魂の音色です。

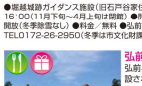
津軽塗(国指定重要無形文化財)
津軽地方は古くから良質の漆の産地。津軽塗の代表である唐塗は、その工程で48回にわたる漆の塗りと研ぎ出しが行われます。高尚な光沢と文様、堅牢な品質と優雅な色彩は、漆器の代表的なものです。

こぎん刺し
津軽のこぎん刺しは、長い雪国の生活の中で育まれた女性の手仕事です。ぜいたくを許されない農家が野良着の麻布に木綿糸で刺して防寒する「刺しこ」から発展し、幾何学的な模様が特徴です。

ブナコ
ブナ材の美しい質感と芯の強さを生かした工芸品です。デザインの優秀性・品質・安全性が認められ、経済産業省選定のグッドデザイン商品に認定されています。ランプや器も人気です。

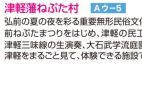


大森勝山遺跡(国指定史跡) B エー5
大森勝山遺跡は、世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産の1つであり、全国的にも珍しい縄文時代晩期(約3,000年前)の眼状列石がある遺跡です。遺跡から岩木山を望む方向には人工物が見えず、縄文時代を想起させる風景を望むことができます。
●見学期間／4月下旬～11月下旬(冬季閉館) ●出土品展示施設：複製物展示 体育文化交流センター(鬼沢字鶴ヶ岡8-5、開館時間：9:00～21:00、月曜・年末年始休館、見学無料)※展示期間中 令和8(2026)年度オープン予定
●問合せ先：弘前市教育委員会文化財課(0172-82-1642)



堀越城跡(国指定史跡／県重宝・旧石戸谷家住宅)
堀越城は、弘前藩初代藩主津軽為信(ためのぶ)が津軽統治の拠点として弘前城へ本拠を移転するまでの間、津軽の中心として栄えました。平成10年(1998)に発掘調査が始まり、整備工事を経て、令和2年(2020)に全面公開しました。
●堀越城跡ガイダンス施設(旧石戸谷家住宅)開館時間：9:00～16:00(11月下旬～4月上旬は開館)●開館期間：通年開放(冬季閉館なし) ●料金：無料 ●弘前市大字川合字陸本160-1
TEL0172-26-2950(冬季は市文化財課0172-82-1642)

弘前れんが倉庫美術館 A オー5
弘前れんが倉庫美術館は、明治・大正期に酒造工場として建設された煉瓦造の建物を改修し、令和2年(2020)にオープンした現代美術館です。奈良美智、ジャン＝ミシェル・オトニエルなどのコレクション展示のほか、多様な現代アートを紹介する企画展を開催しています。
●開館時間：9:00～17:00(金・土の夜間・ライブラリー は21:00まで)●定休日：火曜日(祝日の場合は翌日に振替)、年末年始 ●観覧料：展覧会により観覧料が異なります。●弘前市吉野町2-1 TEL0172-32-8950



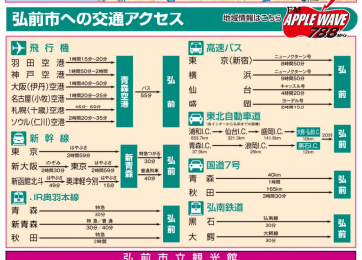
津軽藩ねぷた村 A ウー5
弘前の夏の夜を彩る重要無形民俗文化財 弘前ねぷたまつりをはじめ、津軽の民工芸品、津軽三味線の生演奏、大石武学流庭園など、津軽をまるごと見て、体験できる施設です。

●営業時間：9:00～17:00 ●定休日／なし ●入館料：600円、高・中学生400円、小学生300円、幼児(3才以上)100円、団体割引あり
●弘前市亀甲町61 TEL0172-39-1511 http://www.neputamura.com/

世界自然遺産白神山地の玄関口

弘前市への交通アクセス

地図情報はこちらを APPLE WAVE



弘前市立観光館
弘前市と周辺地域の観光拠点として、さまざまな情報を提供しています。弘前ねぷたが展示された1階には、観光案内カウンターや観光パンフレットコーナー・お土産コーナーなど、2階には津軽塗をはじめ民工芸品の展示コーナーがあります。
●開館時間：9:00～18:00(3つの期間は延長の場合あり)●休館日：年末年始(ただし臨時開館の場合あり)●入館料／無料●弘前市下白銀町2-1 TEL0172-37-5501 A エー7

掲載内容には変更が生じる場合があります。詳細は各施設にご確認の上、お出掛けください。

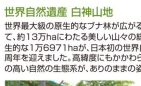
(総合観光案内) 弘前市立観光館 0172-37-5501

■弘前市観光案内所 0172-26-3600 (JR弘前駅内)
■岩木山観光協会 0172-83-3000
■白沢観光協会 0172-83-2130 (白神会館)
■弘前市観光課ホテル組合 0172-34-2657
■百沢温泉旅館組合 0172-83-2345 (湯の沢温泉)
■嶽温泉旅館組合 0172-83-2130 (白神会館)

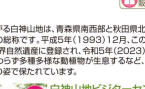
世界自然遺産 白神山地
世界最大級の原生的なブナ林が広がる白神山地。自然の生態系がそのまま保たれている白神山地とその周辺を散策してみましょう。

は、飲食施設があります。 は、お土産品を販売しています。

世界自然遺産 白神山地
世界最大級の原生的なブナ林が広がる白神山地は、青森県南西部と秋田県北西部にかけて、約13万ha にわたる美しい山々の総称です。平成5年(1993)12月、このうち最も原生的な1万697 haが、日本初の世界自然遺産に登録され、令和5年(2023)12月に30周年を迎えました。高緯度にもかかわらず多種多様な動植物が生息するなど、極めて貴重の高い自然の生態系が、ありのまま姿で保たれています。



白神山地ビジターセンター
白神山地の自然や生態系が学べる展示館。「映像体験ホール」では巨大スクリーンで白神の四季を紹介しています。
●開館時間／8:30～17:00(4月～10月)9:00～16:30(11月～3月)
●休館日／要問合せ
●料金／無料(映像観賞料は大人200円、小人(中学生以下)100円)
●西目屋村大字田代字神田61-1
TEL0172-85-2810



水陸両用バス
バスガイドさんの津軽弁と大きな窓から吹き抜ける風を受け、津軽白神湖ベスプラッシュイン!
●期間／4月下旬～10月末
水曜休
●お問合せ／津軽白神ツアー
TEL0172-85-3315
料金／中学生以上 2,500円
3歳～小学生 1,500円
2歳以下 500円

暗門の滝
白神山地を代表する名勝のひとつ。落差26m、3m、42mの3段にわたる滝。滝は拝観すれば、ガイド同伴をお勧めします。
※暗門深谷ルートを向こうとき ヘルメットの着用をお勧いします。(レンタル100円)

アクアグリーンビレッジ ANMON
白神山地散策の拠点になる施設。総合案内所・コテージ・キャンプ場サイト・遊具施設・釣り堀などがあり、白神の自然を味わうことができます。
●期間／4月下旬～11月上旬●時間／8:30～17:30 ※期間により営業時間が変更しますのでお問い合わせください。
●西目屋村田草川字大川目341 TEL0172-85-3021(冬季閉会中)、グリーンパーク(50ha)TEL0172-85-3131

道の駅 津軽白神 ビーチ(にしめや)
切の郷菜などの特産品や、オリジナルアイスの販売、白神そば粉を使った蕎麦や、ダムカレーが人気のレストランがあります。
●営業時間／9:00～17:00(12月～4月中旬迄9:00～16:00)／レストラン11:00～14:00(土日祝11:00～15:00) ●西目屋村田代神田219-1 TEL0172-85-2855

弘前 りんご情報

生産量日本一のりんご
弘前市のりんご収穫量は、年間約16万t で日本一を誇っています。昼夜の寒暖差が大きいことから、実の引き締まった糖度の高いりんごが収穫できます。

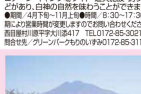
弘前市りんご公園 A エー1
9.7haの敷地に約80種、2300本のりんごが植えられています。季節ごとにもぎとりなどの作業体験ができるほか、1200点ものりんごグッズを揃えたショップ、展望台などがあり、りんごにふれて、学んで、遊びにとどめます。また、りんごカレーやりんごラーメン等のりんごにこだわった食事を楽しむことができます。
●見学時間／9:00～17:00
●弘前市清水富田字宇沢125
TEL0172-36-7439

弘前シードル
シュウッと爽やかなりんごの お酒、シードル。国産シードル発祥の地である弘前には、生食用のりんごや摘果したりんごを使ったもの、単一品種のものや数種類をブレンドしたものなど、個性的で多彩なシードル揃っています。

アップルロードを通ってみよう!
りんご園の中を走る、弘前市石川の県道260号線石川～百田線と、百沢の県道30号、県道3号を結ぶ延長22Kmの通の愛称がアップルロード。5月には淡いピンクの花を咲かせ、秋には真っ赤な実をつける津軽の景色を間近で見られるドライブコースです。

りんごの街のアップルパイ
弘前りんごをふんだんに使ったアップルパイは、市内の洋菓子店等で販売されています。
アップルパイガイドマップ片手に、市内のアップルパイを食べ比べてみてみる。

りんご、りんごジュース
天然の恵みたっぷり受けた弘前りんごは、おいしいだけでなく、整腸やストレス解消、美容に効果があります。

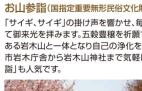


津軽の秀峰 岩木山

古代から津軽の象徴として崇められてきた、青森県の最高峰 岩木山。
人々を優しく包む お山を訪ね、津軽の心にふれてみましょう。

岩木山 B イー3
岩木山は、標高1625mの二重式火山です。山頂が三峰に分かれ、麓鬼山と鳥海山は外輪山の一部で、鐘状の中央火山丘が岩木山。その形は見る方向によって異なり、自分たちの住む方角から見た山が一番といわれる国自慢が存在します。

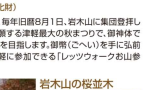
岩木山神社
(国指定重要文化財／本殿、拝殿、奥門、楼門ほか)
宝亀11年(780)岩木山の山頂に社殿を造営したのが起源とされる岩木山神社。藩政時代には津軽氏に厚い信仰を受け、現在の社殿は江戸時代初期の神殿。
●弘前市百沢字寺沢27
TEL0172-83-2135
●休館日／なし ●拝観料／無料
●見学時間／夏季8:00～17:00、冬季8:30～16:00



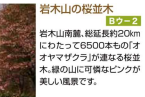
津軽岩木スカイライン B イー2
岩木山を6合目まで車で登れる全長9.8kmの有料道路です。ブナの原生林を縫うように69ものカーブを走り、約30分でターミナルに到着。天気がよければ、北海道や秋田山地、西海岸などの大パノラマが楽しめます。
※冬期間(11月中旬～4月下旬)は閉鎖●弘前市常盤野字鳥森56-2 TEL0172-83-2314

お山参詣(国指定重要無形民俗文化財)
「サイギ、サイギ」の掛け声を響かせ、毎年旧暦8月1日、岩木山に集団登拝して御来光を拝みます。五穀豊穣を祈願する津軽最大の秋まつりで、御神体である岩木山と一体となり自己の浄化を目指します。御幣(こへい)を手に弘前市岩木市街から岩木山神社まで気軽に参加できる「レッツウォーク お山参詣」も人気です。

岩木山の桜並木 B ウー2
岩木山南麓、総延長約20kmにわたって6500本ものオオヤマザクラが連なる桜並木。緑の山に可憐なピンクが美しい風景です。

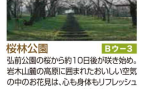


岩木山8合目タク B イー2
岩木山8合目から望む日本海に沈む夕陽は格別。通常17時でスカイラインは閉門しますが、特別期間は夕陽の沈む時間に合わせ閉門を延長しています。
●特別期間／7月中旬～9月下旬
●場所／津軽岩木スカイライン
●料金／通行料1,830円(乗用車)
●TEL0172-83-2314
(岩木スカイライン)



湯段ミズバショウ沼 B イー1
雌滝周辺の湿地帯は清楚で白い花のミズバショウが咲いています。4月下旬～5月上旬が見頃。

桜林公園 B ウー3
弘前公園の桜から約10日後が咲き始め。岩木山麓の高原に囲まれたおしゃれな空気中の芝花は、心も身体もリフレッシュさせてくれるはず。5月上旬が見頃。



高照神社
(国指定重要文化財)
津軽家4代藩主 信政(のぶまさ)が神道の奥義を極め「高照皇社」の神号を授かり、5代藩主 信寿(のぶひさ)が建立、明治10年(1877)には初代藩主 為信(ためのぶ)も合祀されました。
●弘前市高野字神馬野67
●見学時間／9:00～17:00 ●休館日／なし
●拝観料／無料

高岡の森弘前藩歴史館 B エー3
弘前藩の歴史や文化を学べる展示施設で、高照神社に収蔵されていた武具類や絵馬など、藩の宝物を展示しています。
●見学時間／9:30～16:30
●休館日／第3月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始、展示替期間
●入館料／300円、高校・大学生150円、小・中学生100円(団体割引あり)
●弘前市高岡字鷹子沢128-112
TEL0172-83-3110

岩木山周辺の温泉
岩木山周辺には10カ所もの源泉があり、硫黄泉、炭酸水素泉、塩化物泉など、さまざまな泉質を楽しむことができます。

竹・あけびづる細工
岩木山麓に自生する「根曲がり竹」や「あけびづる」を材料としてつくられた、天然の風合いが美しい工芸品です。

樹きゅ(とうもろこし)
昼と夜の気温差が大きいことからはもっとも美味しい。「夏の「樹きゅ」」8月下旬から10月上旬ごろまで道端の出店で販売されています。

弘前の四季ごよみ

春 弘前さくらまつり

染井吉野を はじめ、シダレ桜、八重桜など、52品種約2,500本の桜が園内を染め上げる日本一のさくらまつりです。

4月中旬～5月上旬

会場：弘前公園
まつり時期中は約2万人の人出。
夜間9:00～21:00まで開園
※桜の開花状況により変更となる可能性あり。
日没～22:00(夜間特別ライトアップ)

夏 弘前ねぷたまつり

約60台のねぷたが出陣。夏の夜を彩ります。
「300の重要無形民俗文化財」「残したい"日本の音風景100選"」に認定されています。

8月1日～8月7日

8月1日～4日(夜間運行)
土手町コース 19:00～
8月5日～6日(昼間運行)
駅前コース 19:00～
8月7日(ねぷた日)(昼間運行)
土手町ねぷた日コース 10:00～
なかのまちねぷた 17:00～
(岩木川川川敷)

秋 弘前城菊と紅葉まつり

各季節毎にフラワーポットや、桜やもみじの紅葉が、園内を色鮮やかに染め上げます。秋のライトアップも見所です。

10月下旬～11月上旬

会場：弘前城植物園(有料)
9:00～20:00
(入場券の販売は19:30まで)
日没～21:00
(弘前公園桜・紅葉特別ライトアップ)

冬 弘前城雪燈籠まつり

雪燈籠や雪像約150基のほか、約300基のミニカマクラなどが多っの園内を幻想的に演出します。

2月中旬

メイン会場 弘前公園西の丸
日没～21:00
(夜間特別ライトアップ)

宿泊施設ご案内［市外局番0172］

■弘前市旅館ホテル組合 0172-34-2657　■百沢温泉旅館組合 0172-83-2345(温泉旅館中野)　■奥嶽温泉旅館組合 0172-83-2130(小島旅館)

JR弘前駅前

①	東横イン弘前駅前	31-2045	A オー6
②	ホテルルートイン弘前駅前	31-0010	A エー6
③	アートホテル弘前シティ	37-0700	A カー6
④	弘前プラザホテル	35-0345	A エー6
⑤	プロッサム弘前ホテル	32-4151	A オー6
⑥	津軽の宿 弘前屋	36-4141	A オー6
⑦	弘前駅前ホテル	32-8484	A カー6
⑧	ビジネス旅館 晃荘	33-1101	A カー6
⑨	宮崎旅館	33-8787	A カー6
⑩	弘前ホテル	55-0388	A オー6
⑪	ホステル弘前	070-4339-3537	A オー6

弘前公園（弘前城）周辺

⑫	ドーミーイン弘前	37-5489	A オー5
⑬	スマイルホテル弘前	37-5550	A オー5
⑭	弘前パークホテル	31-0088	A オー5
⑮	弘前東栄ホテル	33-8111	A オー5
⑯	スーパーホテル弘前	35-9000	A オー5
⑰	ホテルハハーヒルズ弘前	39-6663	A オー6
⑱	弘前グランドホテル	32-1515	A エー5
⑲	ビジネスホテル住吉	35-0330	A エー5
⑳	カプセルイン弘前（鶴）	35-0364	A オー5
㉑	Good Old Hotel	40-4558	A オー5
㉒	小笹旅館	32-5111	A エー5
㉓	石場旅館	32-9118	A エー5
㉔	齋栄旅館	32-1511	A エー5

城東方面（JR弘前駅の東側）

㉕	ホテルルートイン弘前城東	29-1011	A オー8
㉖	ビジネスホテル鶴林	27-4488	A カー7
㉗	旅館三楽	27-0133	A キー7
㉘	境関温泉	27-6106	A ウー10
㉙	星と森のロマントピア	84-2288	B カー3

百沢温泉郷

㉚	富士見荘	83-2211	B エー3
㉛	温泉旅館中野	83-2345	B エー3
㉜	ハッピーイン百沢温泉	88-9321	B エー3
㉝	山陽旅館	83-2035	B エー3
㉞	三木幸温泉	83-2508	B エー3
㉟	アソベの森いわき荘	83-2215	B エー3
㊱	桜温泉	82-4332	B オー5

嶽温泉郷

㊲	小島旅館	83-2130	B イー1
㊳	嶽ホテル	83-2045	B イー1
㊴	西潟旅館	83-2754	B イー1
㊵	田潟旅館	83-2752	B イー1
㊶	縄文人の宿	83-2123	B イー1

湯段温泉郷・羽黒温泉郷

㊷	時雨庵	83-2089	B イー1
㊸	ゆだんの宿	83-2234	B イー1
㊹	新栄館	83-2883	B イー1
㊺	ペンションワンダーランド	83-2670	B イー1

弘前 日本近代建築の巨匠 前川國男 建築を訪ねる

地図内の番号が目印です。

1 木村産業研究所
住所：弘前市在府町61

フランスに学ぶ、ル・コルビュジエのもとで学べた構造体ならではの前川國男邸の仕事。広間吹き抜けの前川國男邸のなかで、通り抜けるかのような空間、入口の階段だけ、ちいさなドアにはと、自分のこだわりが随所に感じられる。令和3年（2021）秋の重要文化財に指定

●TEL：0172-32-0535（弘前こぎん研究所）
●見学申込：弘前こぎん研究所へお問い合わせください。

2 弘前中央高等学校講堂
住所：弘前市緑主町7-1

岩川邸同、弘前でのつながりが深い。日本聖職とする内匠、フレンチボワーズ造られた重厚の外壁、有量の色色などが必ずの工夫が見事。後年、全国各地に設計されるキリスト教系学校の礼拝堂の原型。令和元年（2019）に重要文化財に指定

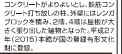
●TEL：0172-35-5000（弘前中央高等学校）●見学不可

3 弘前市庁舎（本館）
住所：弘前市上土手町1-1

昔には、社や駅は、力強さを表現できるコンクリートがわかりやすいと、鉄筋コンクリート打ちはじめ時、外観にはレンガブロックを積み、2階、4階は鉄筋が大きく重ぐりしたり鉄筋となった。平成27年（2015）本館が国の登録有形文化財に登録。

●TEL：0172-35-1111（代表）●見学申込：外観は見学自由

4 弘前市民会館
住所：弘前市下白銀町1-6



コンクリートの硬さは、内壁とちに現時の本石最構がちっさり深いている。約1300名収容のホールは前川邸の解作とされる「神谷川原立図書館・音楽堂」にも引き継がれ、ちょっと知らない建築を訪ねる高めたいこと。

●TEL：0172-32-3374　●見学申込：事前台予約

5 旧弘前市立病院
弘前市末広3-8-1

木材産業研究所や市民会館など、今まで建設した建物の連続を実践に、なんと少来に、自由ない博物をと、前川邸、木造から、自分で放棄できる。フラットルーフ体用広告ではやっぱりこれで、前川は、現在を感じていたが、思あのたのに、あえて、フラットルーフとして、利は冬期大部ニ活用したと言う。

●見学申込：見学は外観のみでお願いいたします　令和4年3月をもって閉館

6 弘前市立博物館
住所：弘前市下白銀町1-6

文化庁の指導で公開内の樹木を「まもり」ずに建築されたと言われている。中央のロビーは、天井まで伸びるスペ吹のフス窓で、窓内からは、お城の春が見えるように工夫されている。

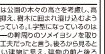
●TEL：0172-35-2700
●見学申込：外観は見学自由ですが、館内は有料です

7 弘前市緑の相談所
住所：弘前市下白銀町1-1

外観は公園の木々の高さを考慮し、高さを抑え、緑木に配ふれ溶け込むようにしている。公園の不対称ダイナミックなコンクリート格子窓で、建物の外観は打ち込みタイル、窓周は除外・仕切とし、弘前での建築の特徴となった。

●TEL：0172-33-8737　●見学申込：なし（自由に見学可能）

8 弘前市民会館
住所：弘前市下白銀町1-6



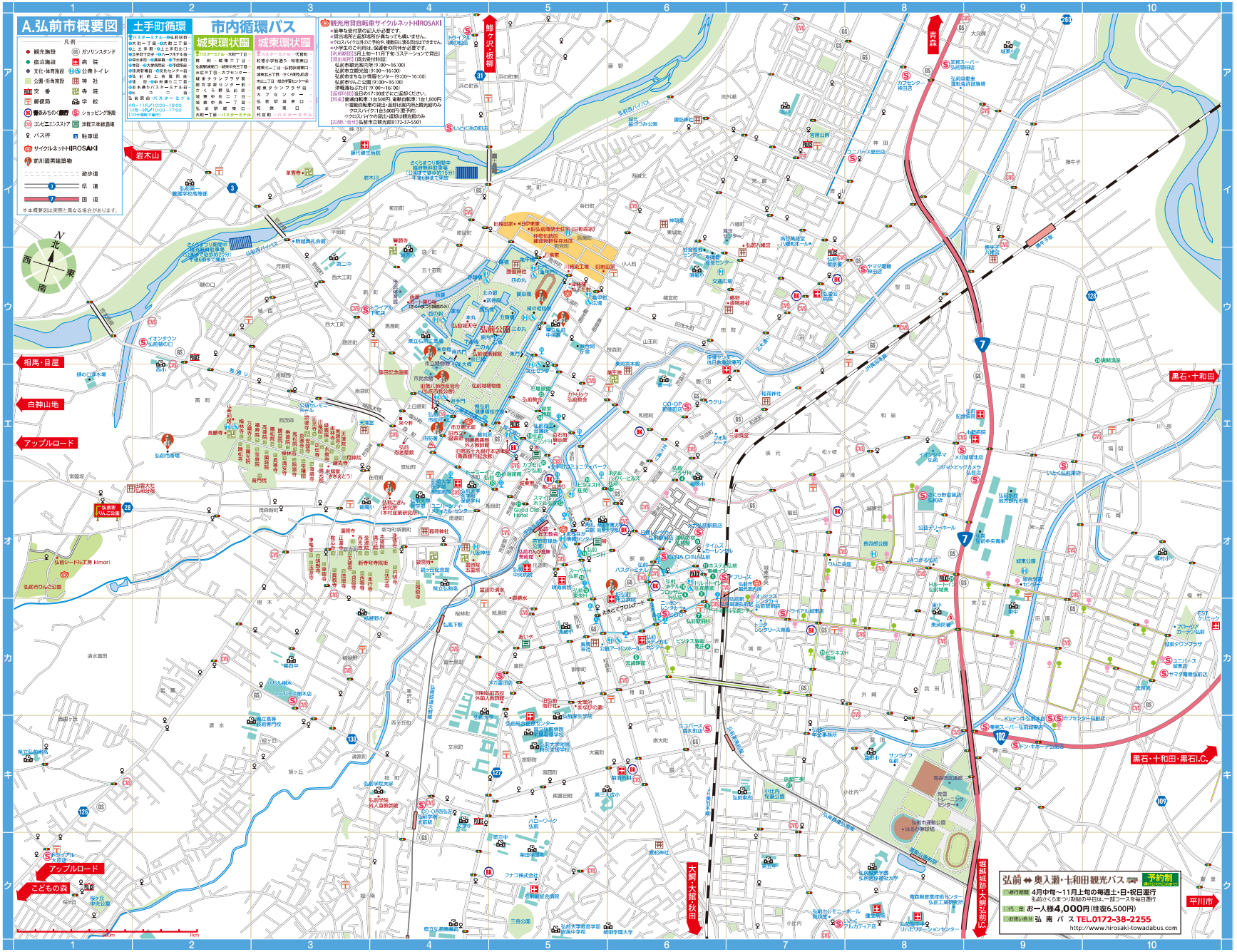
コンクリートの硬さは、内壁とちに現時の本石最構がちっさり深いている。約1300名収容のホールは前川邸の解作とされる「神谷川原立図書館・音楽堂」にも引き継がれ、ちょっと知らない建築を訪ねる高めたいこと。

●TEL：0172-32-3374　●見学申込：事前台予約

9 弘前市斎場
住所：弘前市常盤坂2-20-1

後方には桜林山、スギ林とリンゴ畑、自然の眺望にとけ込み、ひっそりとたたずんでいる。公園の不対称ダイナミックなコンクリート格子窓で、建物の外観は打ち込みタイル、窓周は除外・仕切とし、弘前での建築の特徴となった。

●TEL：0172-32-0843　●見学申込：見学は基本的に8:15～17:00の間にお願いします。事前にお手電話で時間を伺ってください。



弘前公園マップ

津軽統一を果した津軽氏の居城・弘前城の跡地である弘前公園は、広さ約49.2ha、園内を中つく0歩けば、1周約2時間。時情がふれる素敵なさくらを探しに、散策してみませんか。

弘前七桜

弘前公園には、ソメイヨシンに続いて咲き始める桜が40品種約700本ありますが、その中から厳選品種の八重桜を「弘前七桜」と名付けました。

❶	ヤエベニシダレ
❷	ヒロサキユキアカリ
❸	アズマニシキ
❹	ウコン
❺	ショウゲツ
❻	カンザン
❼	フゲンゾウ